

## 要約

龍江の盛土を考える会は、盛土の安全性等について疑問を抱き、また心配する住民で組織し、防災上の観点を中心に様々な角度から有識者を交え検討した内容を提言します。

会員及び住民から寄せられた様々な疑問や問題点を整理し評価したところ、番入寺西候補地への発生土の搬入については、下流域への影響が避けられない「危険な残土の処分方法」である可能性を秘めていることが判明しました。

龍江地域が安全で平穏な地域社会を享受し未来永劫存続するためには、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりが最優先課題であり、未曾有の甚大な災害(人災)が予期されるこの計画の受諾について再考することが肝要です。

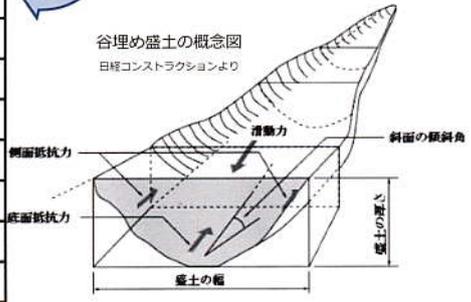
なお、地域の活性化と称し、危険が潜む盛土の活用策を模索することは論外であり、地域にとって必要不可欠な造成かどうかについても原点にかえり改めて検討すべきであると進言します。

このため、民意を代弁する当会の検討結果を尊重し、候補地計画の返上を視野に地域住民とともに再考されるよう要望します。



危険が潜む可能性等を多角的に評価し  
要望書に添付しました

主な検討項目	内容
盛土の安全性	降雨や地下水等によるリスクを詳細に評価
気象現象による影響	異常豪雨や大規模地震等による影響を推定
被害想定	土石流や土砂流出、堆砂による被害を想定
住民避難	命を守る行動や避難情報の発令等を分析
造成後の管理	永続的な管理体制や異常時の対応等を検討
被害の補償	賠償責任の所在や自然災害との連鎖等を考察
造成後の利活用	盛土の必要性や地域の活性化策等を検討
JR東海の姿勢	残土処分のあり方や説明責任等について考察
行政の姿勢	現行基準の整合性や自治体の役割等を考察



番入寺西候補地への膨大な残土の搬入計画は、『危険性が極めて高く下流域に人為的な大災害をもたらす可能性がある』と判断しました。

この結論は、地域住民が自主的に検討したリスクコミュニケーションの成果であり、「残土処分の課題」や「住民自治の在り方」等を改めて考える機会にもなりました。

龍江地域づくり委員会は、当会の検討結果に基づく提言やアンケート調査結果等を民意として尊重し、リスクを伴い造成を行う計画自体の推進が問われていることから、かけがえのない地域の将来に禍根を残さないためにも住民とともに再考していただけることを期待します。

どうか皆様には、“地域の安全安心 & 持続可能な地域づくり”のために  
みんなで考えてくださいますようお願い申し上げます

**龍江の盛土を考える会**  
会長：林平吉 ほか役員・会員一同

# リニアの 残土 盛土計画の 再考 を要望しました

令和2年3月19日

龍江地域づくり委員会 様

龍江の盛土を考える会  
会員一同

## リニア関連発生土置き場(番入寺西)候補地計画の再考について

早春の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、貴会からの要望により、東海旅客鉄道株式会社 (JR東海) が計画する番入寺西候補地へのリニア中央新幹線建設に伴う発生土の搬入については、多くの住民がその安全性を危惧していることはご承知のことと存じます。

当会は、清水沢川の中流域を膨大な建設残土で埋める造成計画に対し、安全安心で持続可能な地域づくりの観点から、賛否を問わず学習会の開催等により安全性への知識を深め、候補地としての妥当性について慎重かつ多角的に検討を重ねて参りました。

検討概要は下記及び別添のとおりですが、番入寺西候補地において残土の処分計画を進めることは、“下流域住民の命と暮らしを危険にさらす極めて重大なリスクが想定され、龍江地域の将来に大きな禍根を残す”との結論に達しました。

このため、候補地計画の取り下げを視野に地域住民とともに計画の受諾について再考されるよう要望します。

### 記

- 1 大規模な土砂災害が発生する恐れがあること。
- 2 基準を遵守した盛土の崩壊が全国各地で相次いでいること。
- 3 盛土を活用する具体策がなく誘致自体が問われていること。

